

事務事業名 ふれあいのまちづくり事業

出力日：令和07年03月18日

キーコード：1044

施 策：	15	地域福祉の推進	財務コード	01030101-10-131
基本事業：	03	地域福祉を支え、推進する人や組織づくり	担当部	健康福祉部
基本事業の 成果指標	福祉委員の数 地域での福祉活動に参加している市民の割合 福祉ボランティア数 コミュニティ単位で組織された民生委員協議会の数		担当課	生活福祉課
			担当係	地域福祉担当



事務事業が貢献すべき成果

計画年度	平成14年度 ~		新規・継続	継続	会計区分	一般会計	実施計画		
1．対象（誰、何に対して事業を行うのか）			2．手段（事務事業の内容、やり方、手順）						
筑紫野市社会福祉協議会			地域福祉を総合的に推進するため、筑紫野市社会福祉協議会に補助を行う。 地域福祉活動推進事業として以下の事業を実施。 福祉委員事業補助 福祉委員は、行政区などの小地域で活動するボランティアで、民生委員・区長などと協力して地域住民の中心となって福祉活動を実践する。福祉委員事業推進のため、ボランティア保険、研修会費用弁償等のほか、小地域福祉活動推進費の一部を補助している。 民生委員児童委員連合会事務局事業補助 民生委員児童委員連合会の円滑な活動のため、民生委員・児童委員研修会等旅費、消耗品費など事務局の運営に要する経費を補助している。						
3．意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
実施する事業により、地域住民の参加と市や福祉団体などが連携し、ともに支え合う地域社会づくりができています。									
4．成果（簡易評価は未記入）									
成果指標名称		単位	04年度 実績	05年度 実績	06年度 当初	07年度 要求	08年度 計画	09年度 計画	目標
福祉委員数		人	194	197	196	200			200
研修等参加率		%	82.7	73.5	88.2	82.7			100
5．コスト									
事業費		計	千円	2,161	2,182	2,300	2,476		
		国	千円	0	0	0	0		
		県	千円	0	0	0	0		
		地方債	千円	0	0	0	0		
		その他	千円	0	0	0	0		
		一般	千円	2,161	2,182	2,300	2,476		
正職員人工数		人工	0.14	0.14	0.14	0.09			
正職員人件費		千円	1,082	1,094	1,123				
トータルコスト(事業費＋正職員人件費)		千円	3,243	3,276	3,423	2,476			
6．成果状況及びコメント（簡易評価は未記入）									
○あがっている ●どちらかといえばあがっている ○あがっていない（停滞・低下）		指標A＜状況＞ 福祉委員数は、令和5年度197人と増加している。 ＜原因＞行政区での担い手づくりが進んでいる。 指標B＜状況＞ 研修等参加率は低下している。 ＜原因＞研修内容によって参加率の差があるため。							
7．評価及びコメント（簡易評価は未記入）									
対象動向	維持	類似事業	なし						
手段効率化余地	なし	コスト削減余地	なし						
公的関与	妥当性がある	受益者負担	余地なし						
上位貢献度	影響度は中	業務推進課題	あり						
成果向上余地	中程度								
8．改善改革案（簡易評価は必要な場合のみ記入）				■改善方向性		●維持 ○見直し ○廃止 ○事業終了			
改革案/期待する成果/必要性/推進スケジュール/必要な費用（維持/事業終了の場合は記入する必要なし）									
■事業開始背景及び現在の環境変化（市民・議会等の要望）				■備考・特記事項 or 進行管理欄					
多様化する福祉課題のため、地域福祉の担い手である福祉委員と民生委員・児童委員に求められる役割等についても広がっている。									